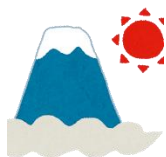


樟の庭

第 243 号

令和3年(2021年) 1月 7日

大阪市立新北野中学校



新年、明けましておめでとうございます

令和3(2021)年がスタートしました。旧年中は、本校の教育活動にご理解いただき、何かとご支援・ご協力を賜りましたこと厚く御礼申しあげます。今年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会全体の活動が大きく制限され、様々なことを自粛せざるを得ない状況になってしまいました。もちろん、学校の教育活動にも多くの制約がありましたが、そんな中でも、本校の生徒たちはできる範囲の中で工夫して努力して、体育大会や文化発表会、また3年生の修学旅行など、大きな学校行事を見事に成功させてくれました。改めて生徒たちのパワーと逞しさを感じました。

このような中、今日3学期の始業式を行いました。早速、生徒たちには、「**1年の計は元旦にあり**」と言いますから、新たなこの1年をどのように過ごすか、考えておくよう課題を与えました。とくに、この3学期は、1年で最も短い期間ですが、年度をまとめるととても重要な時期です。中学校生活においては、1年生は1年間の、2年生は2年間の、そして3年生は中学校3年間とともに小学校からの義務教育9年間の総仕上げの時期になります。

3月12日の卒業式まであと約2か月間、日数を数えるとあと **65日**、休日を除いて仲間と一緒に学校生活を過ごせるのも、あと **44日** というところまで来ています。新北野中学校とともに学んだこと、友情や喜びを噛みしめて最後は「**立つ鳥跡を濁さず**」で、胸を張って卒業していけるよう1日1日、1時間1時間を大切にしながら、いろんな場面で自分の努力や成果を発揮し、先生方や保護者の方だけでなく、まわりの仲間からも「よく頑張ったなあ。」とお互いに称え合えるように頑張ってもらいたいと思います。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の現状は改善しないどころか、ますます深刻な状況を見せたりしています。なかなか先が見えず、収束の見込みも立ちませんが、健康には常に留意しながら、日々の学校生活を充実し、生徒たちの更なる逞しい成長を願っていききたいと思います。

(校長 風間 浩)



けい がんたん

「**1年の計は元旦にあり**」…1年のことは元旦に計画を立てるべきである。物事は最初が大事なので、しっかりした計画のもと行えということ。



た とりあと にご

「**立つ鳥跡を濁さず**」…立ち去る時に、あとは見苦しくないようにすべきだということ。